

令和5年4月12日

## デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

有限会社安部動物病院

### 1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の2点より、競合優位性が高まります。

#### A) 安全性・労働生産性の向上

白内障手術装置「CENTURION」では、乳化吸引効率が飛躍的に向上し、眼にダメージを与えるリスクのある超音波および流体の使用を最小限に抑えることが出来ます。また、センサーで眼圧の変動を検知し、自動で灌流量を補正する Active Fluidics 機能により、施術中の眼圧/全房圧が常に自動で最適化されるため、術者に依存しない安全性を担保します。

#### B) 見える化の推進

メディカルビデオレコーダー「MV-1」は、手術時の映像を 1080p/60FPS の高画質データとして、飼い主様にストリーミング配信が可能であり、これまで把握できなかったペットの施術内容を、デジタル技術により飼い主様に目で見えて理解していただくことが可能になります。より理解をして頂いた上での治療を進めることで、インフォームドコンセントを徹底します。

### 2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を活用して、ヒト医療レベルの高度眼科治療を提供する動物病院へ」

当院は本事業を通じて白内障に特化した治療体制を構築します。本治療ではデジタル技術を用いた設備を導入し、ヒト医療に匹敵する高度眼科医療を提供します。デジタル技術の活用により当院内とペット、飼い主様にとって多くのメリットを持ちます。顧客満足度の向上によって患者数が増加し、経営面で弊社に寄与します。

### 3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 白内障以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

令和5年4月12日

#### 4. 戦略推進のための組織体制

